

児童発達支援自己評価表

別添資料

|          |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|----------|----|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | ○  |     | 利用児が活動しやすいよう、家具等の配置により最適な空間を作り出すようにしている                         |
|          | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |     | 個別を重要視しており、指定基準以上の人員配置をしている                                     |
|          | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | ○  |     | 利用児が持ち物を収納しやすいよう、収納BOXを色分けするなど、目で見て分かるように工夫している                 |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | ○  |     | 終業後に必ず清掃し、翌日も室内の喚起及び清掃を実施している                                   |
| 業務改善     | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか  | ○  |     | 定期的にスタッフミーティングを実施し、業務の洗い出し及び効率化を考えながら、チーム目標を設定し、振り返りも実施している     |
|          | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  |    | ○   | 今回が初めての実施、今後、業務改善に繋げていく予定としている。                                 |
|          | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   |    | ○   | 今回が初めての実施   |
|          | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   |    | ○   | 今回が初めての実施   |
|          | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | ○  |     | 新任スタッフ向けの研修を実施しており、今年度は現任スタッフに対しても、カリキュラム・子どもの関わり等の研修を実施予定としている |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | ○  |     | 初回面接時にアセスメントシートを使用して、保護者・利用児の課題抽出及びニーズの聞き取りを実施している              |
|          | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | ○  |     | 当社独自のツールを使用して、状況把握をしている   |
|          | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○  |     | ガイドラインで示す支援内容を適切に選択し、具体的な支援内容を設定している                            |
|          | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | ○  |     | 適宜、個別支援計画を確認し、月ごとの目標設定をする中で、計画に沿った支援を実施している                     |

|                          | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|--------------------------|--|----|-----|---|
| 適切な支援の提供                 | 14 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | ○  |     | 毎朝、スタッフミーティングを実施し、お子様一人ひとりに合ったカリキュラムを構成している                   |
|                          | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | ○  |     | 個別ケースを参照にしながら、固定化しないよう配慮している                                  |
|                          | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか                                | ○  |     | お子様一人ひとりに合わせた個別支援計画の作成を意識し、個別・集団のカリキュラムを構成するよう意識している          |
|                          | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                                 | ○  |     | 14の回答参照   |
|                          | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                            | ○  |     | 個別ケースを記入する際、業務・支援の振り返りを実施している                                 |
|                          | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | ○  |     | 日々、個別ケース記録を作成している。また毎月、スタッフ間でのケース会議を実施し、支援内容の検証・課題の把握・共有をしている |
|                          | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | ○  |     | 19の回答参照   |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                             |    | ○   | サービス担当者会議の実施がない   |
|                          | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | ○  |     | 各関係機関と情報共有しながらの支援を心掛けている                                      |
|                          | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか |    | ○   | 医療的ケア・重度心身障がいのご利用児がいない  |
|                          | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか              |    | ○   | 23の回答参照   |
|                          | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                  |    | ○   | 移行支援対象児がいないが、利用児の各保育園・幼稚園に対し、保護者の同意を得た上で、利用時の日々の記録を毎月、提供している  |
|                          | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                              |    | ○   | 26の回答参照   |
|                          | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                      | ○  |     | 各関係機関と連携し、支援している  |
|                          | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                       |    | ○   | 実施していない   |

|              |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など  |
|--------------|----|---|----|-----|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  |    | ○   | 特に参画していない  |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | ○  |     | 送迎・お迎え時にお子様のカリキュラム状況等を説明する時間を適宜、設けている。また毎月、お子様の成長を記録したレポートを提出している                    |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか   | ○  |     | 隔月で保護者向け勉強会を実施している   |
| 保護者への説明責任等   | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | ○  |     | 契約時、保護者の方が分かりやすいよう、ご説明させていただいている   |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○  |     | 個別支援計画に関しては、計画(案)を基に、保護者に支援内容を理解・了解いただき、署名・押印いただいている                                 |
|              | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○  |     | その都度、保護者からの相談に対し、助言、場合によっては他機関への紹介等をさせていただいている                                       |
|              | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | ○  |     | 隔月で保護者向け勉強会を実施している   |
|              | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | ○  |     | その都度、保護者からの相談に対し、助言、場合によっては他機関への紹介等をさせていただいている                                       |
|              | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | ○  |     | 連絡網アプリを活用し、行事予定等を配信している。   |
|              | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | ○  |     | 鍵付き書庫を設置し、保管している。  |
|              | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか   | ○  |     |  |
| 非常時等の対応      | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |    | ○   | 事業所の行事を実施していない。  |
|              | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | ○  |     | 保護者へは事業所入り口に閲覧表ファイルを設置し、各種マニュアルが確認できるようにしている。またスタッフには休憩スペースに配置しており、いつでも確認できるようにしている。 |
|              | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○  |     | 年に2回、災害時の訓練を実施している。  |
|              | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | ○  |     | アセスメント時、確認させていただいている。  |
|              | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   |    | ○   | 食事提供を実施していない。  |

|         |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|---------|----|---|----|-----|---------------------|
| 非常時等の対応 | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○  |     |                     |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○  |     | 年1回研修を実施している。       |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○  |     |                     |

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。